

村の話題

10.29 [土曜日] - 10.31 [月曜日] 於：栃木県

全国障害者スポーツ大会 フライングディスク競技で優勝！ & 4位入賞！！

第22回全国障害者スポーツ大会「いちご^{いちご}とちぎ大会」にて、梶本義則さん（村内下）と佐々木由子さん（村内上）がフライングディスク競技に出場しました。

フライングディスク競技のうち、5メートル離れた円形のゴールに10連投して入った枚数を競うアキュラシーで、梶本さんは10投中9投を成功させ優勝しました。また、佐々木さんは10枚中7枚を成功させ4位に入賞しました。

当日は半袖になるほどの暖かさで、周囲の期待も高い中、見事な成績を収められました。おめでとうございます。



11.2 [水曜日]

ようこそ佐那河内小学校へ ～国際交流集会～

佐那河内小学校で国際交流集会を開催しました。

今年度は、韓国にルーツをもつ大岡令奈さんと新疆ウイグル自治区出身の清水イリムラティさんをお迎えしました。おふたりには、韓国や新疆ウイグル自治区の生活や食べ物について教えていただきました。子どもたちからは「ゲームは韓国語で何と言うのですか」など質問しました。



興味深いお話で、あっという間に45分が過ぎました。子どもたちは、まだまだ聞いていたい、もっと質問したいという雰囲気に溢れていました。

11.6 [日曜日] 於：村役場村民ホール

第2回佐那河内村学術講演会 「棟付帳にみる江戸時代佐那河内の姿」



▲報告HP

講師に「徳島県立文書館 金原祐樹 館長」をお招きし、ご講演いただきました。

村内外から53人のみなさまにご来場いただき、稲木家文書に残る棟付帳から、江戸時代における本村での当時の人々の暮らしぶりや龍王鍛冶（刀鍛冶）、郷鉄砲（鉄砲を預けられた者）といった生業が存在していたことをご紹介します。また、文化8年（1811年）には、上佐那河内村は350軒、1,400人の大村であったそうです。

この学術講演会は、「阿波学会」のご後援をいただきながら開催しています。映像や写真など交えながらわかりやすくご講演いただいておりますので、みなさまのご参加をお待ちしています。



▲徳島県立文書館
金原 祐樹館長

●第3回佐那河内村学術講演会 演題：「佐那河内村の植物について」

《とき》令和5年1月15日(日) 10:00～ 《ところ》佐那河内村役場 村民ホール

《講師》徳島県立博物館 植物担当学芸員 小川 誠 課長